

(様式2①)

対象建築物番号 (支援室が記入)	C	H																		
---------------------	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1棟の対象建築物につき1枚のシートを作成してください。2棟以上を対象建築物について申請する場合はシートを追加して作成してください。

対象建築物の事業実施計画書

・対象建築物の所有者(法人の場合は会社名等、区分所有又は共有の場合は代表者)

所有者名	株式会社〇〇ホテル
------	-----------

・所有者が2名以上いる場合は、人数を記入のうえ、所有者全員のリスト等(任意様式)を添付してください。

			4	名	所有者が4名いる場合で、株式会社〇〇ホテルが代表者を想定しています
--	--	--	---	---	-----------------------------------

・対象建築物の概要

名称	ホテル〇〇 本館											
対象建築物の住所 (住居表示)	〒	1	0	3	-	0	0	2	7	ビル名等を記入する場合は、住所のあとに1文字空けてください	対象地域	
	東京都中央区日本橋1-5-3										No.	2450
											エリア	KA1
地名地番	東京都中央区日本橋〇〇〇、〇〇〇											

↑ 都道府県名より記入してください。

用途	ホテル														
構造・階数	鉄筋コンクリート・S			造	地上	9	階	・	地下	1	階	・	塔屋	1	階
延べ床面積	30,000			m ² (小数点以下切り捨て)			消費税相当額が仕入税額控除の対象となる場合は、消費税相当額分を除いた額を記入してください								
建築年月日	昭和	平成	5	2	年	1	0	月	頃着工						

・事業に要する経費

項目	金額欄(千円未満切捨て)							備考	
①実際に補強設計に要する費用			1	2	0	0	0	千円	
②補助限度額【①×補助率(1/3)】			4	0	0	0	0	千円	
③補助申請額			4	0	0	0	0	千円	

金額の記入は全て右詰で記入してください。(金額欄に不要な記号は記入しないでください。)

・詳細診断の結果、倒壊又は損傷(構造上主要な部分の損傷又は周囲への影響がある外壁等の損傷に限る。)の危険性があると判断されたものであること

詳細診断の結果、倒壊又は損傷の危険性があると判断されたものである。	■	詳細診断結果の写し (マニュアル・交付申請・提出書類④)
-----------------------------------	---	---------------------------------

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

(様式2②)

対象建築物番号 (支援室が記入)	C	H																		
---------------------	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1棟の対象建築物につき1枚のシートを作成してください。2棟以上の対象建築物について申請する場合はシートを追加して作成してください。

対象建築物の事業実施計画書②

・事業期間

事業着手 (契約予定)	平成	○	○	年	○	○	月	○	○	日	←補助金交付決定後に事業着手(契約)するものが対象となります。
完了 (予定)	平成	○	○	年	○	○	月			←補強設計事業の完了及び支払いの完了(領収書等)が事業完了となります。	

・当該建築物を設計することができる資格を有する者が補強設計を実施すること。

設計者 氏名	改修 三郎											姓と名の間は1文字空けてください							
住所 (都道府県名より記入 してください。)	東京都千代田区霞が関○-○-○											ビル名等を記入する場合は、住所のあとに1文字空けてください							
電話番号	0	9	0			-	5	6	7	8	-	1	2	3	4				
設計者 資格	(一級) 建築士 (大臣) 登録																		
	第 ○○○○○○ 号																		
事務所名 (○○○設計株式会社 一級建築士事務所)																			
(東京都) 知事登録 第 ○○○○○○ 号																			

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。